

安全だより（センターだより編）

センターでは、会員の健康と就業上の安全及び適正な就業を確保するための対策を検討し、的確に推進するため適時、安全・適正就業委員会を開催し、事故の再発防止策や、各種安全事業の実施について協議しています。

—令和6年度・事故発生状況について—

《傷害事故》

2件（就業中0件・就業行き帰り2件）

前年同期間1件（就業中1件・就業行き帰り0件）

令和6年6月24日現在

No.	発生日時・年齢・性別	傷害の程度	状況・改善点
1	令和6年5月9日 22時30分頃 71歳・男性 (就業帰り・継続)	左小指切創、 左肘関節捻挫、 左橈骨頭骨折	業務終了後、自転車で帰宅途中、車道を走っていたが後ろから車が来たので歩道によけようとした時に、車道と歩道の段差に気づかずハンドルを取られて転倒した。 【改善点】慣れた道でも注意して走行すること。特に夜間は気をつけること。
2	令和6年6月5日 12時40分頃 80歳・男性 (就業行き・継続)	肋骨骨折 入院10日間	就業先の駐輪場に、自転車に乗車したまま乗り入れようとしたところ、入口の段差に車輪がかかり、その反動で転倒し左わき腹を打ったが、そのまま就業し帰宅した。その日の夜中に激痛を発症したため救急車で病院に搬送され、入院となった。 【改善点】降車して駐輪すること。

《賠償責任事故》1件 前年同期間3件

No.	発生日時・年齢・性別	賠償の程度	状況・改善点
1	令和6年6月3日 12時15分頃 77歳・男性 (就業中・継続)	外灯配線の復元 30,800円	除草作業中に、刈払機で外灯につながる配線を切断した。 【改善点】状況に応じて手刈り作業を行うなど注意して作業すること。



熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です!

高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能やからだの調整機能も低下しているので、注意が必要です。(厚生労働省HPより抜粋)